

令和元年 卒業生アンケート

対象卒業生 2017 年度卒業生・2018 年度卒業生

## 令和元年卒業生アンケート

調査実施期間：令和元年 8 月 1 日から 9 月 30 日

調査対象者：2017 年度本学卒業生（392 名）、2018 年度本学卒業生（411 名）、合計 803 名

調査実施方法：帰省先へアンケートを郵送 アンケート回収数：104 名（12.7%）

2017 年度・2018 年度卒業生		
学部	学科	回答者数
社会科学部	経営社会学科	4
	スポーツ社会学科	15
保健医療福祉学部	看護学科	22
	理学療法学科	9
	作業療法学科	14
	社会福祉学科	5
心理学部	心理学部	9
	子ども発達教育学科	5
アニメーション文化学部	アニメーション文化学科	1
農学部	地域創生農学科	9
	醸造学科	
外国語学部	外国学科	8
大学院		3
合 計		104 名

※ 卒業生への調査対象については、学生の帰省先・現住所を把握できなかった者もあり、今後は学科などの協力を得て卒業生の住所を把握することが必要であると考えられた。有効回答数が 12.7%であったことは、調査期間が短かったことも考えられ、今後はもう少し長めにとる必要性があるだろう。今後の卒業生調査の実施については、調査対象や目標、方法等の設定を綿密に計画を立てる必要があるだろう。また、今年度は 9 月に連休が 2 度あったが回収率にはつながらなかった。

### ● 現在の状況について教えてください

現在の状況	件数	%
A 在職中	75	72%
B 転職した	14	13%
C.退職予定	0	0
D.退職した	2	2%
E.就職していない	13	13%

B C D の理由	件数
1.仕事の内容	2
2.待遇福利厚生	2
3.年収	2
4.勤務地	1
5.教育体制	2
6.その他	7

在職中が72%であったが、転職や退職の者も15%あった。このことから、今後就職支援においては、職業選択の際にさらにマッチングへの強化に取り組む必要があると考えられた。

売り手市場、学生有利の現状の中で転職、退職をしたという理由を踏まえて、就職活動中の学生との面談及び教員とキャリアサポートセンターとの連携を強化していかなければならない。

E「就職していない」者の理由は、進学、留学というキャリアアップのための内容であることがわかった。また、国家試験に失敗した学生が国家試験のため就職していないことも分かった。

### ● 雇用形態について

雇用形態	件	%
正社員	72	69%
非正規雇用社員	3	3%
パート・アルバイト 30 時間以上	5	5%
パート・アルバイト 30 時間未満	4	4%
自営業	3	3%
その他	3	3%
無記入	14	13%

※ 正社員が69%であったが、非正規・アルバイト、パートが全体で12%あり、正規採用への支援が必要になるだろう。そのためには、就職活動の方法・業界研究など、自分が何をしたいか、できるかの分析をさせ、支援していく必要があると考えられた。

### ● 業種について

業種について	件	%
1.建築不動産業	2	2%
2.製造業	3	3%
3.電気・ガス・水道業	0	0%
4.情報通信業	2	2%
5.運輸・郵便業	0	0%
6.卸売り・小売り業	6	6%
7.金融保険業	3	3%
8.サービス業	9	9%
9.教育学習支援業	8	8%
10.医療福祉業	44	42%
11.公務員	4	4%
12.その他	9	9%
無記入	14	13%

【業界】 農業・トレーナー

【職種】 フロント・指導員・農業・生産・警備  
酪農・番組制作・製造・トレーナー

### ● 職種について

職種について	件	%
1.事務	5	4%
2.営業	8	8%
3.販売	6	6%
4.学校教育	5	5%
5.看護師	20	19%
6.保健師	1	1%
7.養護教諭	0	0%
8.社会福祉士	0	0%
9.精神保健福祉士	0	0%
10.介護職	7	7%
11.相談員	1	1%
12.理学療法士	7	7%
13.作業療法士	9	9%
14.健康運動指導士・実践指導者	0	0%
15.幼稚園教諭	0	0%
16.保育士	2	2%
17.その他	19	18%
無記入	14	13%

● あなたは吉備国際大学を卒業して満足していますか。

	件	%
1.満足	40	38%
2.やや満足	38	37%
3.どちらともいえない	23	22%
4.やや不満	1	1%
5.不満	1	1%
無記入	1	1%

※ 吉備国際大学を卒業して満足しているかの回答で75%の卒業生が満足、やや満足と回答してくれている。この内容を踏まえて、学生の満足度を高めるために、学生のニーズに応じられるよう今後もサポートに取り組んでいくことが大切である。

● あなたは卒業した学部・学科に満足していますか

	件	%
1.満足	50	48%
2.やや満足	32	31%
3.どちらともいえない	20	19%
4.やや不満	1	1%
5.不満	0	0%
無記入	1	1%

※79%の卒業生が満足、やや満足と回答。各学科の教育、研究等が学生へ活かされていると感じられた。今後も学生の満足度を高めるためにさらに引き続き取り組んでいく。

● 社会人になって大学時代に身に付けておけばよかったこと、また、後輩に身に付けて欲しいことや経験して欲しいことは何か？

- ・ Excel、Word などのパソコンの技術
- ・ 留学経験、英会話能力
- ・ 知識、考え方、思考力、専門的知識を増やす、勉強
- ・ 文章表現、伝え方、聞き方（報連相、社会人はもっと必要）
- ・ コミュニケーション（同年代だけでなく交流する力）
- ・ アルバイト・ボランティア経験・部活、サークル経験
- ・ インターンシップ
- ・ マナー、挨拶、メールでのマナー
- ・ 国家試験の勉強
- ・ 自分がやりたいと思ったこと、興味を持ったことチャレンジしてほしい。

● 大学時代を振り返った時、有意義であった講義・ガイダンスセミナーありましたか？

- ・ インターンシップ
- ・ 就職セミナー、身だしなみ、就活の具体的なアドバイス
- ・ ゼミが有意義だった。
- ・ 卒論は大変だったがゼミの仲間と協力しながら最後まで書き上げる事ができ授業では学べないことが学べた。
- ・ 卒論の研究が財産となった。
- ・ 専門課程は全般的に有意義だった。今も役立っている。
- ・ キャリアサポートセンターでの面接練習、小論添削、履歴書添削。就活に自信がついた。
- ・ パソコンの授業。特に Excel 仕事で書類作成に役立っている。
- ・ 現場実習。学校では勉強できないことまで学習でき、それを覚えていることが多かったから